

件名：新市誕生10周年記念「郷土の偉人を顕彰する講演会」の開催について

- 1 目的 市内出身の偉人たちの業績に学び、先人に続く人材を育て、よりよい郷土をつくることを目的とします。
- 2 内容 角田柳作氏の業績を学ぶための講演会を開催します。
日時：平成27年12月19日(土)午後2時～4時20分
会場：北橋公民館ホール
- 3 事業の概要
 - 赤城地区出身の角田柳作氏(1877～1964)は、40歳で米国に渡り、87歳で死去するまで、コロンビア大学に日本図書館を創設し、日本文化センターを開設しました。しかし、その大きな功績にもかかわらず、日本ではあまり知られていません。角田柳作氏のニューヨーク時代を詳しく研究・紹介した小樽商科大学教授荻野富士夫氏を招き、講演会を実施します。
 - 講演会の開催にあたり「角田柳作先生を顕彰する講演会」実行委員を公募し、実行委員会を設立しました。
 - 当日、渋川市公民館活動功労者表彰式も併せて開催します(表彰式終了後、講演会を行います)。
- 4 主催 渋川市・渋川市教育委員会
共催 「角田柳作先生を顕彰する講演会」実行委員会

参考

角田柳作

1877(明治10)年1月28日

		群馬県勢多郡津久田村(現在の渋川市赤城町津久田)に生まれる。
1893年	16歳	群馬県尋常中学校(現 前橋高等学校)退学 東京専門学校(現 早稲田大学)入学
1896年	19歳	東京専門学校卒業
1897～1899年	20～22歳	民友社、人民新聞社、開拓社に勤務
1899～1902年	22～25歳	京都真言宗聯合高等中学林(現 種智院大学)教師(3年間)
1903～1909年	26～32歳	福島県立福島中学校、宮城県立仙台第一中学校教師(6年間)
1909～1917年	32～40歳	ハワイ ホノルル市 本派本願寺ハワイ中学校校長(8年間) 途中、半年ほど肺結核のため故郷で療養する
1917～1918年	40～41歳	コロンビア大学、クラーク大学で学ぶ(聴講)
1918～1926年	41～49歳	コロラド日本人会書記長、ニューヨーク日本人会書記長
1927～1928年	50～51歳	日本に帰国し、支援者の獲得や図書・資料の収集をする。
1929～1930年	52～53歳	アメリカ日本文化研究所理事兼司書
1931～1948年	54～71歳	コロンビア大学日本文庫主事、日本学研究所講師、中国日本学部講師
1948～1953年	71～76歳	コロンビア大学中国日本文学部特別講師
1961～1962年	84～85歳	コロンビア大学で日本古典と明治文学の講読
1962年	85歳	コロンビア大学から名誉文学博士号
1963年	86歳	コロンビア大学で日本の詩の歴史的研究の講座
1964年(昭和39)年11月29日	87歳	ハワイ ホノルルで死去
	20代から40歳	京都、福島、仙台、ハワイで教師

40代 アメリカ合衆国コロラド、ニューヨークで日本人会書記
50代から80代 日本文庫の整備、コロンビア大学の講師

角田先生の主な業績

- 日本研究・教育に不可欠な図書・資料を整備し、アメリカの「日本学」の基礎をかためた一人
- 日本文学、歴史、文化人類学、政治経済を研究し、成果をあげた多くの弟子を育てたこと(ドナルド・キーン博士など)
- アメリカの歴史と伝記を広く日本に紹介しようとしたこと (未完)